

(別添資料1)

事業所名

放課後等デイサービスちくわぱん

支援プログラム

作成日

令和

6 年

12月

5

法人（事業所）理念		①安心・安全 ②色々なことに挑戦 ③いつも楽しく												
支援方針		一、利用者様を第一と考え、常に快適で満足していただける空間を提供いたします。 二、利用者様を尊重し、社会的自立の形成を育めるようサービス提供いたします。 三、お友達との関わりを持ち、楽しい心持でお帰りいただけるよう鋭意努力いたします。												
営業時間		10時		00分から		19時		00分まで		送迎実施の有無		あり	なし	
		支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	各児童に適した、身体的・精神的・社会対応スキルを向上させることで、社会での自立、健全かつ自発的な生活を営む能力を獲得できるよう支援します。また、基本的な身辺自立ができるようになること。活動の中で物の購入方法等実際の経験と知識を有し、将来自立した意思決定や方法を学べるよう支援します。 ・体温計測 ・気分把握 ・生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所） ・クッキングの実施 ・地震、火災などの避難訓練 ・身の周りの整理整頓 ・手洗いの励行 ・買い物（模擬店・実店）												
	運動・感覚	ルールや順番がある身体を使った集団遊びを通して、身体的機能を向上させ、心身のバランスを整え感情コントロールや集中力を高められるよう支援します。 ・感覚遊び ・ダンスやラジオ体操の実施 ・サーキット遊び ・ボール等の道具を使った遊び ・公園遊び等												
	認知・行動	自身の認知的特徴を理解し、様々な事象への認知・行動の適応力が促進できるよう、認知の偏り等の個々の特性に配慮しながら感覚形成できるよう支援していきます。 ・天気、気温、日付けの把握と確認による感覚 ・知覚の認知形成 ・タイムスケジュール確認による時間の認知形成 ・色々な素材を使用して物質の感覚形成 ・組み立て玩具による空間認知形成 ・工作による認知形成 ・遊び、ゲームの中での適切な行動形成（認知の偏りの配慮）・季節の変化への興味などの感性形成の為の外出・行動												
	言語コミュニケーション	活動を通して色々な事を体験し、自身の気持ちと他者の気持ちを理解し、体系的な言葉の習得や自発的な表出やコミュニケーションスキルの発展を図ります。												
	人間関係社会性	周囲の人と安定した関係を形成するための支援や無関心である一人遊びの状態から並行遊び、大人が介入して行う集団遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶことを通して、徐々に社会性の発達を支援していきます。 ・ルールの理解が必要な集団遊び ・季節のイベント ・外出レクリエーション												
家族支援		・本人が自分で考えたり選んだりすることができるように、一呼吸おいてから次の提案をします。 ・具体的な選択肢を二つ提示して選ぶ機会を設けます。 ・本人のコミュニケーションや仕草等で気になったことを帰りの送迎時や面談の際に共有いたします。					移行支援			・学校での引き渡し時では本日の学校での様子やがんばったことなどを聞き、支援に生かしていきます。 ・関係機関と連携しご本人の家庭での様子や学校・福祉サービスを利用している中での気になる様子を共通認識として把握できるようにします				
地域支援・地域連携		・特別支援教育を提供する学校や教育機関と連携し、障害児の教育的ニーズに応じた支援を行います。また、一般の学校とも情報の共有、教育的ニーズに応じた支援を行います。					職員の質の向上			・経験や職種に応じた研修の参加を促しスキルアップの機会をつくっていきます				
主な行事等														